

# そば栽培のポイント

## 1 排水対策

- (1) 排水の良い圃場を選ぶ  
栽培期間中、滞水しないこと、特に開花期まで
- (2) 排水不良田では必ず排水溝を設置  
圃場周囲および圃場内に設置（乾田 5～7 m、湿田 2～3 m 間隔）  
溝の深さは 15 cm 以上 特に周囲は 30 cm 程度

湛水日数と出芽率（長野中信農試）

作物名	そば			大豆			とうもろこし		
	0	1	3	0	1	3	0	1	3
出芽率（%）	87.4	26.0	2.6	98.5	35.0	33.5	98.5	88.5	56.5

播種後 3 日間は降雨がない時を選ぶ

## 2 基肥及び耕起

- (1) 石灰散布  
苦土石灰 50～100 kg/10a そばは石灰や苦土の吸収量が多い。
- (2) 基肥  
窒素は控えめに 堆肥の施用（1 t 程度）は収量を高める。  
（施肥例）  
麦作跡 PK 化成 10 kg/10a（成分 0.2・2 kg/10a）  
やせ地 アラジン 484 20 kg/10a（成分 2.8・3.6・2.8 kg/10a）  
畑・中山間地 くみあい 13 号 20 kg/10a（成分 0.6・2.2 kg/10a）
- (3) 耕起は播種当日  
降雨後は作業が困難になると雑草対策にもよい。

## 3 適正播種

- (1) 播種時期  
初霜までに成熟期に達すること  
（8 月末までに播く 松江の初霜 11 月 20 日頃）  
後作に麦を播くところは遅くとも 8 月 20 日頃までに
- (2) 播種方法  
条播 条間 30～60cm（条間が広い場合は雑草と倒伏の恐れがあるので中耕、土寄せを行う。）  
ばらまき ロータリーの浅耕（深さ 5 cm 位）またはカゴ車で覆土する。
- (3) 播種量

ばらまき 8～10 kg/10a      条播 4～5 kg/10a  
 苗立ち目標      100 本/m<sup>2</sup>

#### 4 雑草対策

- (1) 耕起・砕土を丁寧に（播種時に雑草をなくす）
- (2) ナブ乳剤  
 イネ科雑草が多い場合に  
 ナブ乳剤 150～200ml を水 100～150 ㎖溶かして散布(収穫 45 日前まで)
- (3) 中耕培土の実施（広い条播の場合）  
 開花始めに中耕、除草と合わせて土寄せを株元へ 10cm 程度行う。倒伏防止効果もある。

#### 5 ハスモンヨトウ防除

幼虫発生初期（発蛾最盛期 5～10 日後）に薬剤散布する。

薬剤名	希釈 倍数	散布量 ㎖/10a	使用時期 (収穫前)	使用回 数	備 考
ロムダン フロアブル	2000 倍	150～300	発生初期 (21 日前ま で)	2 回以内	訪花昆虫に影 響が少ない
ゼンターリ 顆粒水和剤	2000 倍	〃	発生初期 (収穫前日ま で)	4 回以内	〃有機栽培可 展着剤を加用 する

発蛾最盛期 5～10 後の幼虫発生期



#### 6 収 穫

全体の実がほぼ 80%近く黒化した時に刈り取る。  
 コンバインは露等の水分がなくなってから作業する。